

# 都道府県名:熊本県 団体名:サントリービール株式会社九州熊本工場

## 地域

サントリービール九州熊本工場が在りする熊本県嘉島町は、熊本県の中心都市熊本市の南部に位置しており、平成の名水百選に選ばれた『六嘉湧水群・浮島』等、一大湧水群を形成する『活力とうるおいに満ちた田園文化都市』です。その豊富で良質な地下天然水を使用して、ビール類・飲料等を生産しています。

## 経緯

サントリーは地下天然水を使用するだけでなく、『人と自然と響あう』という企業理念、『水と生きる』というコーポレートメッセージに込めた想いを、水源涵養活動への積極的な取り組みによって実現したいと考え、まずは熊本から活動を開始しました。

## 功績内容

- ◆製造工程で節水に努め、現在では使用量の約1/2をリサイクル。また雨水再利用設備として、雨水貯水槽、水回収タンク、雨水ろ過器を設置し、冷却水や緑地散水用に雨水を使用。
- ◆2003年林野庁九州森林管理局と熊本県西原村の約102haの「法人の森林」契約を締結し、『天然水の森 阿蘇』の水源涵養活動開始。現在は388haに拡大。
- ◆2010年熊本県益城町にて冬季湛水『冬水田んぼ』を開始。2014年から湛水域を拡大し、合計11haの田んぼに冬期湛水する地下水涵養量は、約30～50万トン。
- ◆工場見学来場者に水源涵養活動や工場の節水活動を紹介(12年間で170万人に紹介)。
- ◆『天然水の森 阿蘇』に入り、森を守り、地下天然水を育む大切さを伝えるプログラム『森と水の学校』開催(2004年より12年間で284回開催、延べ11,439人が参加)。
- ◆小学校で先生とサントリーの水育講師が、水の大切さを伝える授業『水育出張授業』開催(2007年より8年間で41回開催、延べ2,493人が参加)。

### 雨水利用 (※冷却水や緑地散水用として使用)



### 『天然水の森 阿蘇』と『冬水田んぼ』での社員ボランティア



### 工場見学时環境コーナー訴求活動



### 次世代環境教育『水育』

